



第5号

1997.8.16



編集発行
 都市生活地域復興センター
 兵庫県西宮市津門西口町7-3
 TEL 0798-36-6679
 FAX 0798-36-5114
 Email pancer@lib.bekkoame.or.jp

毎月のどこの形づくりにあわせて

8月6日(水曜日) くもり時々雨

午後1時。ポートアイランド第3仮設からいつものように手渡し共同購入が始まる。ふれあいセンターの玄関に陣取って卵や牛乳の仕分け。今日の即売の目玉は桃。おじさんたちが冷やかにやってきた。玄関の周りには手入れの行き届いた花々が咲き乱れている。この日は午前中から大阪の中学生たちが訪問に来ていた。この仮設には相変わらず訪問客が絶えない。

〇〇さんは今日も元気かな。注文の品をもってドアをたたくと明るい笑顔がこぼれてきた。よかった、よかった。また来週。



あまいる

の

絵日記

8月7日(木曜日) くもり

第3仮設で月に1度の茶話会。まずは手芸教室から。今日はポケットティッシュのケースを作ります。

手芸の後は習ったばかりの「ミュージック・セラピー」をやってみます。尼崎の「わかば」の昼食会で先月デビューを飾り、好評だったので(?)再び挑戦。仮設中に声をかけ、みんなを引っ張ってきました。夏休みのせいか、今日は小さな女の子たちもいます。うまくいくかどうかちょっと不安だったけ

ど、結果は大成功。85才のおばあちゃんも子どものようにしゃいでいました。みんないい運動になったでしょ!



8月後半 / 9月前半の予定

- 8月 ■ 20日(水) ポーアイ手渡し共同購入 (神戸、by あまいる)
- 21日(木) 生活応援部会
- 23日(土) 桃山台老人ホーム夏祭り (神戸、by かけ橋)
復興センター運営会議 (復興センター)
- 26日(火) 老人昼食会 (尼崎、by わかば)
- 27日(水) ポーアイ手渡し共同購入
- 9月 ■ 3日(水) ポーアイ手渡し共同購入
- 4日(木) 車塚仮設交流会 (伊丹、by さくらんぼ)
- 10日(水) ポーアイ手渡し共同購入
- 11日(木) 奥畑仮設交流会 (伊丹、by さくらんぼ)
たまねぎサロン (復興センター、by たまねぎの会)



たまねぎの会が事例発表 県民ネット交流会

たまねぎの会（西宮）に対して兵庫県
の生活復興県民ネットから30万円の助成
が下りることになりました。8月8日に
フェニックスプラザ（三宮）で開かれた
同ネットの今年度の助成対象団体（95団
体/事業）の交流会では、たまねぎの会か
ら渡辺圭子さん、吉田朋子さんの二名が
事例発表を行いました。二人は仮設での
交流会をきっかけに被災者の手芸作品の
販売をサポートするようになったいきさ
つなどを報告し、今後は「仮設後」の復
興（公営）住宅などでも新たな活動を展
開していく決意を表明しました。



写真上 左：渡辺圭子さん
右：吉田朋子さん
三宮のフェニックスプラザで



◆市民案継続審議に◆

廃案が濃厚と思われていた「災害被災者等支援法案」（いわゆる市民議員立法案）が、6月17日一転して継続審議となることが参議院で決定しました。さらに一ヶ月後の7月17日には全国知事会の総会で、自然災害によって住宅を失った被災者に最高100万円を給付する等の内容の「災害相互支援基金」の創設が特別決議されました。兵庫県原案の同基金構想について、国は「真剣に検討したい」（橋本首相）としていますが、今回の決議でただちに同基金ができるわけではなく、実現までにはたくさんハードルがあります。当面、財源と阪神・淡路大震災への波及的措置の問題が焦点になるものと思われます。兵庫県は同基金に加えて「住宅地震共済制度」の創設も併せて提案していましたが、今回の特別決議には盛り込まれません。240万人の署名を集めた「自然災害に対する国民的保障制度を求めた国民会議」は知事会案の全面支援を打ち出しています。秋の臨時国会で新たな災害対策システムについて知事会案と市民議員立法案を軸に文字通り「真剣」な討議が行われることを期待します。（池田）

一歩前進
新たな災害対策システム

◆知事会で基金案採択◆

仮設 3万戸割る

阪神・淡路大震災から2年半を翌日に迎える7月16日、兵庫県の仮設住宅入居戸数が3万を切ったことが明らかになりました（兵庫県調べ）。今秋から復興住宅への移転が本格化し、仮設入居戸数の減少は加速化すると思われていますが、それにともなつてすでに一部で発生している仮設の統廃合問題などが一挙に全面化して行くことが予想されます。

仮設の解消は、災害被災者に対する個人助成制度の欠落、高齢化問題、障害者差

震災から2年半

別、住宅政策の不備、住民不在の都市計画、失業・倒産や商店街の不振など、複雑に絡み合った諸問題の解決と平行して進められなければ単なる「追い出し」になってしまいます。被災地の困難な社会経験はまだまだ続きます。

INFORMATION

■次号お知らせ□

‘明日に架ける橋’をめざして

被災地では最も西に位置する明石市。日本標準時は明石を基準に決められています。その日本標準時を示す明石天文科学館の巨大な時計台は95年1月17日から午前5時46分を指したまま止まっていました。その姿は震災後にまるで時間が止まってしまったかのような被災地の姿を象徴していました。

明石を代表するもう一つの「モニュメント」は明石海峡大橋です。来年に完成予定の世界最大のこの釣り橋は明石海峡をまたいで淡路島と本州を結びつけることになりませんが、実は本州側は明石市ではなく神戸市垂水区です。

次号では、明石の仮設での活動から出発し、現在は垂水区の特養老人ホームを拠点にがんばるグループ「かけ橋」を御紹介します。

INFORMATION

Dairy Memo

センターの活動日誌

7月・8月前半

- 7月
- 2日 ポーアイ手渡し共同購入
(神・中央区、by あまいる)
 - 4日 ハングル講座
(西宮、復興センター)
 - 9日 ポーアイ手渡し共同購入
 - 10日 ポーアイ第3仮設茶話会
(by あまいる)
 - 11日 わかば昼食会
(尼崎、by わかば)
 - 15日 西神11仮設交流会
(神・西区、by ゼンこう)
 - 16日 ポーアイ手渡し共同購入
 - 17日 生活応援部会会議
(復興センター)
 - 18日 ハングル講座
 - 23日 桃山台老人ホーム喫茶室
(神・垂水区、by かけ橋)

- 24日 北河原仮設交流会
(伊丹、by さくらんぼ)
- 西宮浜仮設交流会
(西宮、by たまねぎの会)
- 25日 ハングル講座
- 30日 ポーアイ手渡し共同購入
- 8月
- 6日 ポーアイ手渡し共同購入
- 7日 ポーアイ第3仮設茶話会
- 9日 西神3仮設夏祭り
(by ゼンこう)
- 11日 福祉プラン検討会
(生協都市生活・復興センター)
- 16日 西神11仮設夏祭り
(by ゼンこう)